

5. 県内の国際経済交流・国際交通

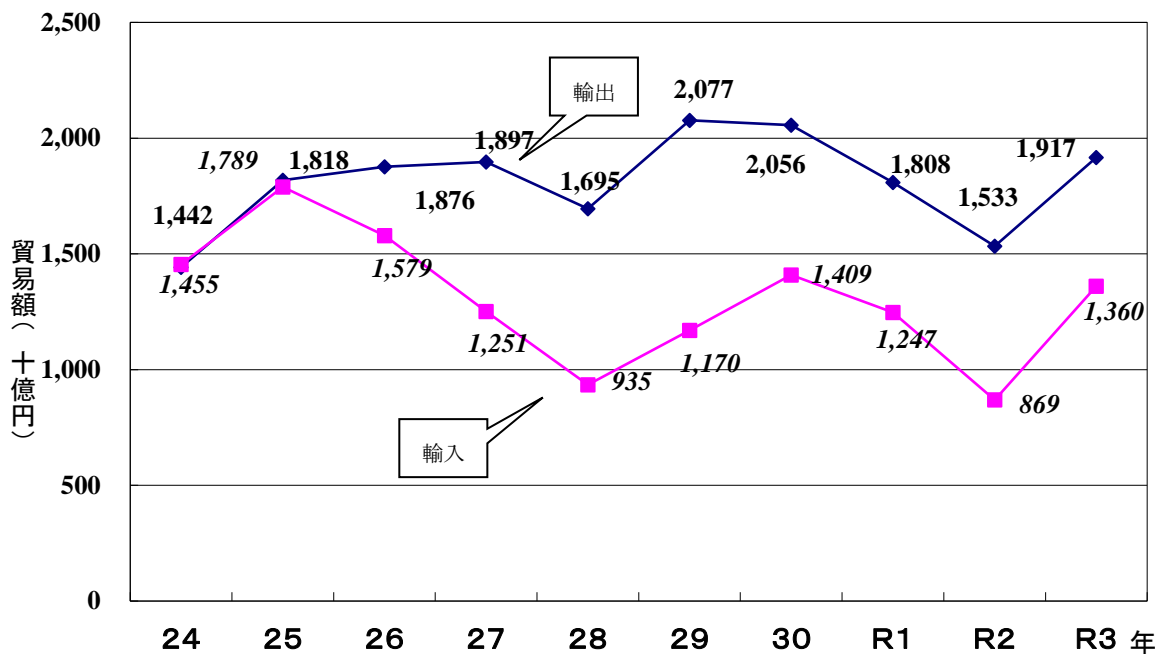
5.1 国際経済交流(山口県の輸出入)

令和3年の山口県の輸出額は、1兆9,171億円で前年比25.0%の増加となった。輸入額は、8,692億円で対前年比30.3%の減少となった。

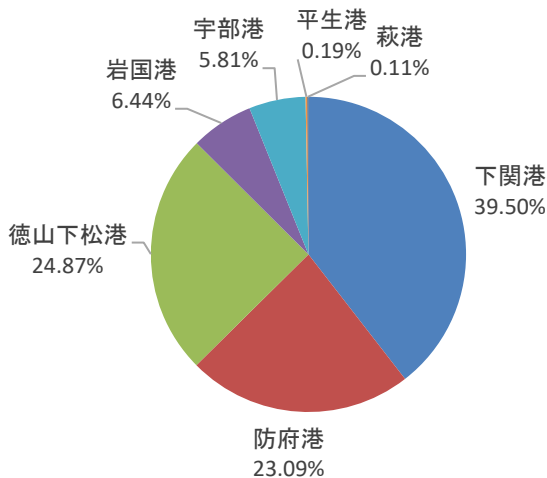
本県の貿易は、輸出がアジア地域、輸入がアジア地域及び中東地域を中心に行われているが、輸出品目では自動車などの機械類、輸入品目では原油や石炭などの鉱物性燃料が、輸出入額の多くを占めている。

また、国際拠点港湾の徳山下松港及び下関港における輸出入額が全体の5割以上を占めている。

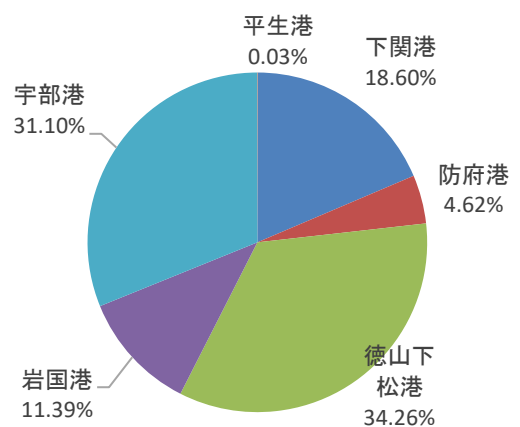
(1) 山口県の貿易額 (出典：山口県貿易統計)



(2) 港湾別の状況 (出典：山口県貿易統計)

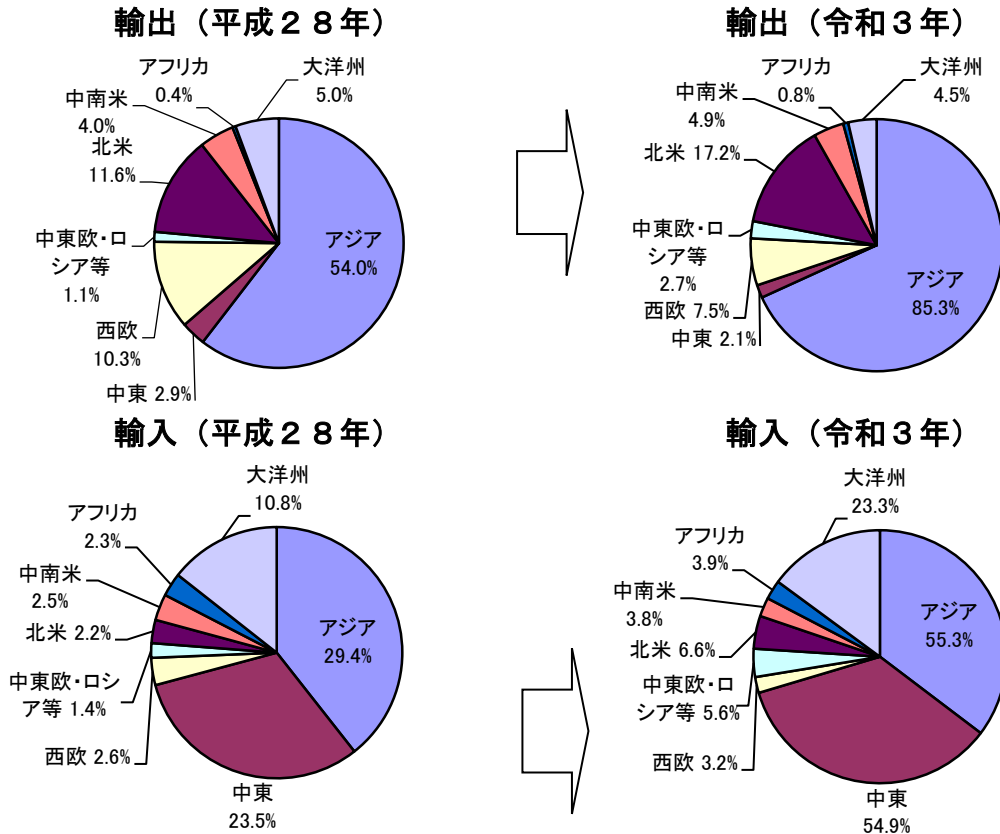


令和3年 輸出(19,171億円)

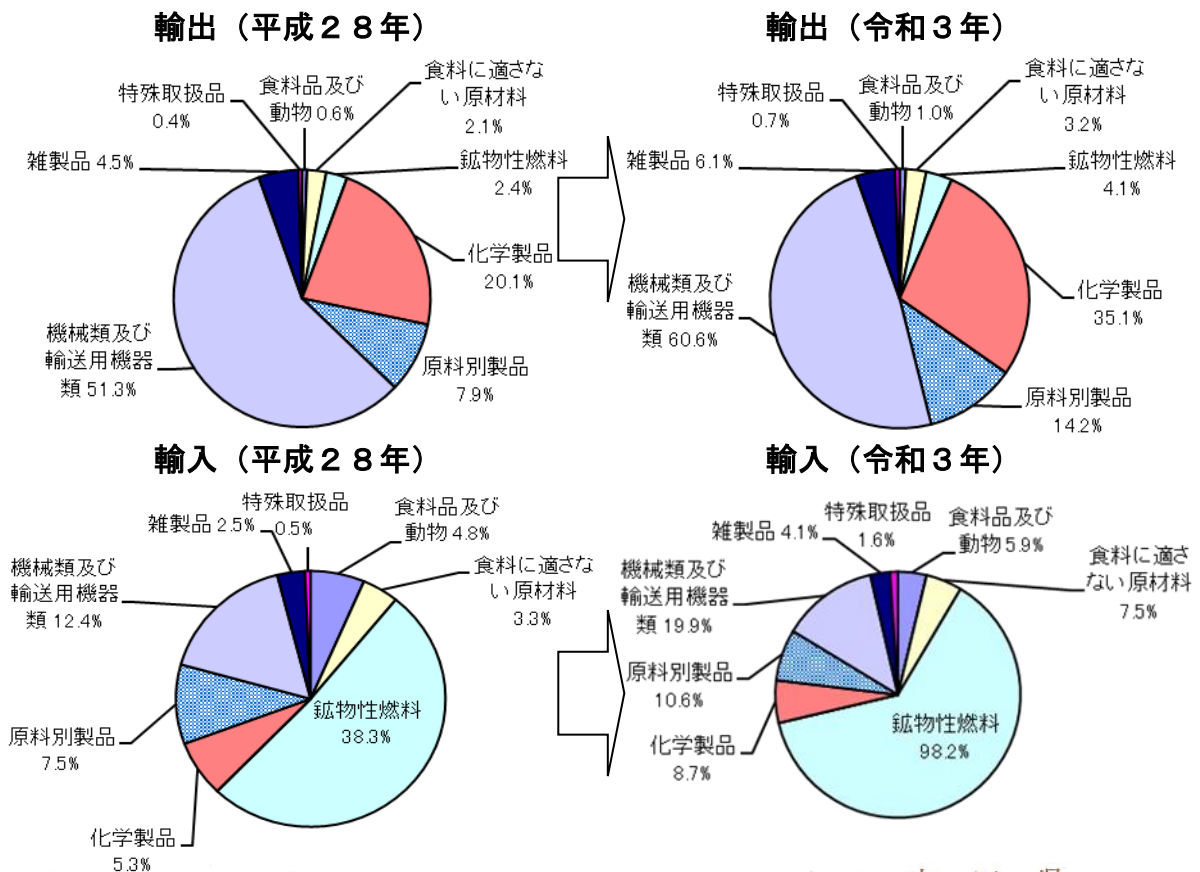


令和3年 輸入(13,607億円)

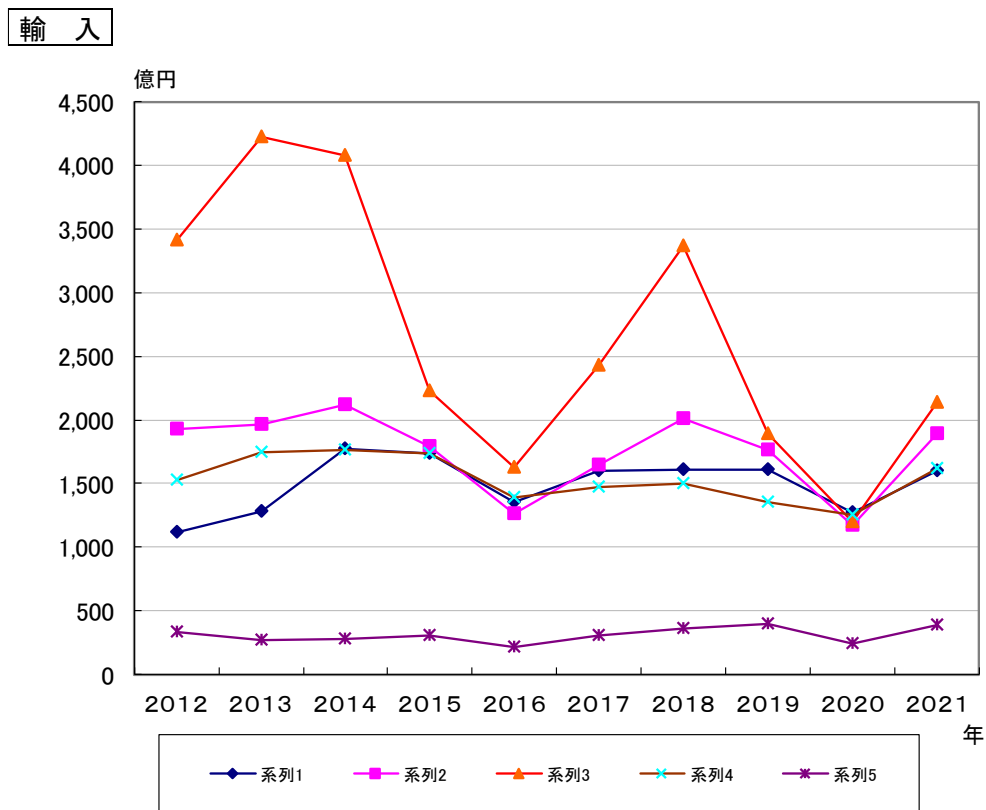
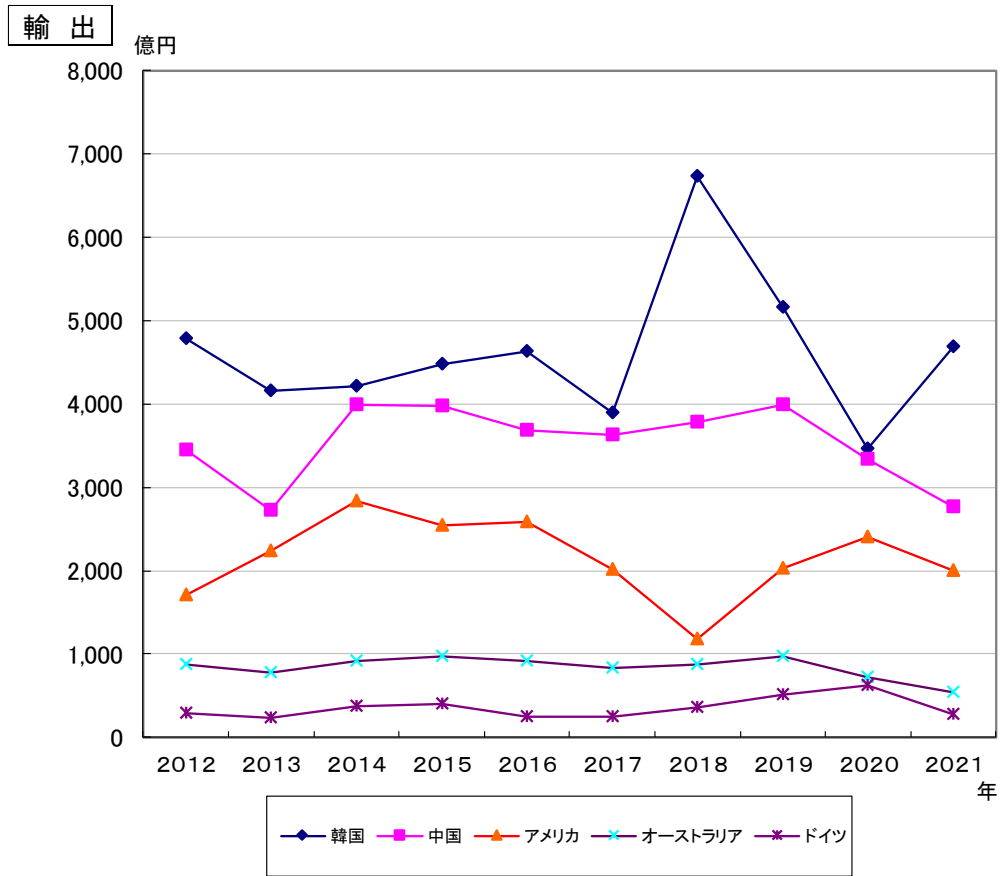
(3) 地域別の状況 (出典：山口県貿易統計)



(4) 品目別の状況 (出典：山口県貿易統計)



(5) 国別の概況（出典：山口県貿易統計）



5.2 国際交通

本県では、下関港から韓国・釜山広域市、中国・太倉市の間に2つの国際定期フェリー航路をもち、東アジアとの交流の窓口となっている。

その他、コンテナ航路についても多くの定期便が開設され、アジア方面を中心に貨物を取り引きされており、今後も航路の増便や新規航路の開設に向け、積極的なポートセールスを実施する。

また、山口宇部空港についても国際定期便の運航再開に向けた取組を推進している。

(1) 国際定期航路（フェリー）

◆ 下関～釜山定期航路

区間	便数	船名	乗客数	運航者	運航内容
下関～釜山 (1970年6月就航)	1日1便 (毎日)	はまゆう (船籍:日本)	トン数:16,187トン 乗客定員:460人	関釜フェリー(株)	共同運航 下関発 19:45 釜山着 8:00(翌日)
		星希(ソヒ) (船籍:韓国)	トン数:16,875トン 乗客定員:562人	釜関フェリー(株)	釜山発 21:00 下関着 7:45(翌日)

◆ 下関～太倉定期航路

区間	便数	船名	国際総トン数	運航者	運航内容
下関～太倉 (2007年8月就航)	週2便	UTOPIA (船籍:パナマ)	16,408トン	蘇州下関 フェリー 株	下関港 太倉港 (日)11:00 出港-(月)21:00 入港 (水)20:30 出港-(金)08:00 入港 太倉港 下関港 (火)03:00 出港-(水)15:00 下関入港 (金)19:00 出港-(日)07:00 下関入港

※2009年10月から貨物便のみの運航

(2) 国際定期航路（航空機）

平成24年度から韓国との間で定期便を見据えたチャーター便の運航を開始し、平成28年11月に山口宇部空港初となる国際定期便（山口宇部⇔ソウル（仁川））が運航開始されたが、令和元年度から運航休止となった。

◆ 山口宇部～ソウル（仁川）線 ※運休中



(3) 国際便

◆ 目的地別運行実績（昭和 55 年度～令和 4 年度・片道ベース）

山口宇部空港発着

目的地	便数	利用者数
中国	129	17,903
上海	12	1,638
青島	7	709
杭州	5	701
済南	20	2,651
威海	2	250
北京	14	2,140
深圳	2	372
天津	4	576
西安	5	583
煙台	1	149
昆明	2	313
桂林	4	634
花蓮	2	244
成都	4	596
ハイラル	2	204
張家界	2	176
瀋陽	1	124
大連	1	124
香港	28	4,394
マカオ	11	1,325

目的地	便数	利用者数
韓国	756	109,326
ソウル	659	95,240
済州	64	8,594
釜山	23	3,805
仁川	10	1,687
台湾	232	31,116
台北	199	26,655
高雄	33	4,461
その他	79	15,016
シンガポール	28	5,953
シェムリアップ	8	1,112
ハノイ	4	610
ヨーロッパ	9	1,117
カナダ	2	404
ホノルル	14	3,612
グアム	4	524
オーストラリア	4	675
ニュージーランド	4	663
アラスカ	2	346
合計	1,196	173,361

岩国錦帯橋空港発着（平成 24 年度～令和 4 年度・片道ベース）

目的地	便数	利用者数
ハワイ	5	971